（作成者：クリニカルパス専門部会）

Aza療法を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／ 治療1日目	2病日 ／ 治療2日目	3病日 ／ 治療3日目	4病日 ／ 治療4日目	5病日 ／ 治療5日目	6病日 ／ 治療6日目	7病日：退院 ／ 治療7日目	【退院後の生活について】
達成目標	・治療について理解できる ・嘔吐がない ・38.0度以上の発熱がない ・便秘がない					・退院指導の内容を理解できる		・処方されている薬は医師の指示通りに内服してください ・治療で体力が低下していますので、無理せず、ゆっくりとした生活を心掛けてください。また、下肢の筋力も低下していますので、歩行時はゆっくり動き、転倒に注意してください ・治療の影響で免疫力が低下しています。風邪などをひきやすい状態ですので、外出時にはマスクの着用し、帰宅後は手洗い・うがいを行ってください 以下の症状がある時はご連絡ください ・37.5度以上の発熱 ・全身倦怠感、疲労感 ・息切れ、息苦しさ ・食事や水分が摂れない 【緊急連絡先】 ・診療日時間内（8：30～17：00） 内科外来 ：0985-85-9883 ・休診日・診療日時間外 5階東病棟 ：0985-85-1789
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します ・吐き気を予防する薬を内服します（朝食後）							
注射	・点滴をします（毎日）						・点滴を抜きます	
検査	・身長・体重測定	・体重測定（毎日）						
食事	・制限はありません							
活動・安静	・制限はありません.。点滴中は安静にお過ごしください							
清潔	・シャワー浴は治療前までにお済ませください（毎日）							
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・薬剤師が、資料を用いて治療（薬剤）の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・がん薬物療法オリエンテーションを行います ・感染予防、転倒転落予防について説明します					・「がん薬物療法を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します	・薬剤師が、退院後の薬剤について説明します	
その他	・同意書は職員にお渡しください						・病棟スタッフが、退院処方の必要性や処方の確認を行います	
	・嘔気や気分不良などの症状があればお薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください ・点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴が入っているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください ・点滴中にトイレに行く時は、治療薬を止めることもありますので、ナースコールでお知らせください ・抗がん薬投与終了から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。排泄時、尿・便の飛散により、他の方々のお身体にも影響を及ぼす可能性があるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください							

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2026年8月承認
2026年11月更新